

# 平成 26 年度 事業計画書

岩室観光開発株式会社

## 1. 事業方針

新潟市岩室健康増進センターは市民に保健、保養並びに交流の場を提供することにより、余暇活動、健康の増進及び福祉の向上を通じ地域社会の健全な発展に寄与し、更に地域社会の活性化に貢献することを目的とします。

さらに「おもてなしの心」で入館者、施設利用者を迎え、癒しの場を提供しつつ、利用者が快適に過ごせるような施設運営をめざします。

管理運営に関しては、利用者の安全・安心を第一とし、日頃から防災、衛生対策に努めながら、地域住民や利用者の意見・要望を反映させ、より効率的な管理運営を行うことを事業方針とします。

## 2. 具体的取り組み（事業計画）

- ① 地域の商工会、自治会、コミュニティー協議会、農協、老人会、子供会等との組織と連携を密にして地域活動に積極的に参加し、施設PRを強化し利用者の増加を図ります。  
また、これらの活動拠点として、安価な費用と使い勝手が良く、清潔な施設で一層交流を深めることができるように送迎バスの運行にも便利を図る予定です。
- ② 入館者は平成 23 年度に増加に転じましたが、24 年度はレジオネラ菌事故の影響で減少になりました。しかしながら、平成 25 年度は従業員一同の営業努力により平成 23 年度の実績を上回ることができました。（平成 23 年度実績 45,724 人、平成 24 年度実績 43,373 人、平成 25 年度実績 47,883 人）  
26 年度は、さらなる入館者増に従業員一同努力します。
- ③ 24 年度は節電に努め大いに効果がありましたが、25 年 7 月より東北電力の電気料金の値上げが実施され、24 年度の節電努力が報われない結果となりました。利用者に十分な理解と協力を求めたうえで、室内の温度調整等に配慮し、電気料のさらなる節電を目指します。他にも創意と工夫をしながら、経常経費の削減に努め、バランスの取れた運営を目指します。
- ④ 地産地消を目標とし、「新潟市地産地消の店」に認定された実績を基に、尚一層自主事業（飲食部門）の質を向上します。  
岩室温泉の高台に位置し、絶好のロケーションを誇り、春夏秋冬すばらしい自然に囲まれている環境を生かしながら、地元間瀬漁港の鮮魚を使った海鮮料理と地元産の野菜、コシヒカリなど生産者から購入した素材での新メニューの開発にも励み、地元の冠婚葬祭時に利用される施設をめざします。

- ⑤ 快適かつ安全に過ごして貰う為、館内清掃・消毒と防災対策を徹底し、安全衛生を進めます。入館者、施設利用者、職員等の安全、安心を第一とした管理を行い、日頃より、衛生対策、防火、自然災害対策に努めます。

衛生対策については、特に食中毒・レジオネラ菌に充分気をつけ、マニュアルに沿った清掃・衛生管理に努めます。また防火・自然災害対策については、緊急時対応の「防災危機管理マニュアル」にのっとり、十分な訓練を行います。

レジオネラ菌の検査は、11月に行なわれる新潟市保健所の検査の他に、2月、4月の年2回、自主検査を実施します。

食中毒の防止については、外部の抜き打ち検査を年3回実施します。

- ⑥ 接客トラブル等に速やかに対処するべく、社内研修を実施します。利用者の満足度を上げるために、職員研修による接客マナーの向上に努め、あらかじめ苦情、要望の多いと思われる業務は事前に改善に努めます。
- ⑦ 平成23年7月から利用者アンケート箱をよりなれの2階無料休憩室に設置し、入館者の意見、要望、苦情をお聞きし改善してきましたが、今年はさらに推し進めていきたいと思えます。

### 3. 集客対策

- ① 風呂、食堂の従業員一体となり、細かい気配りを行い集客に努力してまいります。
- ② ホームページの内容をより充実させ、広く「よりなれ、静閑荘」をPRします。
- ③ 新潟日報事業者発行の「新潟日帰り温泉パラダイス」(雑誌、4月27日発売)に協賛します。
- ④ 施設の東側(越後平野側)の松と雑木を伐採し、平野から見て施設の白い建物が小高い丘の上に浮かびあがるようにします。(年間20万円づつ25年度、26年度、27年度の3年計画)